

補正予算の主なもの



補正
予算

	増額（減額）	内容
地域安全カメラ設置事業	(2,000,000円)	防犯カメラ設置にかかる補助金
公立相馬総合病院事業	384,000,000円	病院事業に対する負担金
防災集団移転促進事業	(310,000,000円)	被災地買取りに伴う用地費

被災地買取りに伴う用地費の減額、

公立相馬総合病院への負担金の増額等により、

全体で6億2,223万円を減額

防犯カメラ設置に伴う

補助金を減額補正

1機あたり20万円を上限に、防犯カメラ設置にかかる補助金として、10機分200万円の予算を計上していたが、設置に至らなかったため、減額補正をするもの。



議員

本事業は今後も実施するものなのかを問う。

市

設置希望の団体等から問い合わせが3件ほどあったが、維

持管理の負担、カメラ設置場所等の調整の結果、設置に至らなかった。本事業については今後とも継続していく予定で、平成31年度以降の設置についての問い合わせも来ている。

公立相馬総合病院への

負担金を増額補正

公立相馬総合病院の入院患者数及び、外来患者数の当初見込みからの減少に伴う収益見込み額減による負担金の増額であり、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき算定される資金不足比率が20パーセントを超え、国の管理のもとに入ってしまったため、その比率を19.1パーセントに設定し、その比率から算出される額の4億8,000万円を、相馬市8割、新地町2割で按分し、今回3億8,400万円を増額補正として計上するもの。

議員

入院、外来の患者が減った原因及び、今後も負担金の増額を継続していくものなのかを問う。

市

患者数減少の原因は、平成30年度の病院の決算が明らかになっていな

い現段階においては、断言することはできない。負担金の増額については、今後も人口と病床数の関係が改善されない状況であればそのようなことも考えられる。

被災地買取に伴う

用地費を減額補正

被災地買取に伴う用地費を計上していたが、平成30年度見込額が確定したため、3億1,000万円を減額するもの。

議員

平成30年度の交渉状況と今後の見通しを問う。

市

平成30年度の契約実績は2月末現在の件数で48件。面積で9,90

0平米。金額にすると7,200万円となっている。

今後の見込みは、約95パーセントの買い取りが終わり、残り5パーセントになるが、そのうち半数の2.5パーセントが、価格に不満であったり、相続を受けた財産で売りたくない、土地利用をしたいということで買い取りを拒否している。あとの半分については、権利関係を整理しないと買えないということ、その相続調査、抵当権等の調査をしている状況である。相続権を誰に移すかというのは相手次第で、こちらで助言はできないので、その部分は相手に任せることになる。

今後、できる限りの相続調査をして、相手に示していくことになる。